

大牟田市立白川小学校

1 本校のESDの特徴

本校は大牟田市のほぼ中央部に位置しており、学校のすぐ近くを国道が通り、大型商業施設やマンションが建ち並び、周囲には住宅が密集している。自然環境にふれ合う機会は少ないが、学校には、市内で一番広い運動場があり、樹木がたくさんある。さらに、地域には、白川校区に長く住み、住みよい町づくりに取り組む人が多い。また、エネルギー教育モデル校として、教科や課外活動を通じてエネルギーについて幅広く学び、子どもが将来のエネルギーに対する適切な判断と行動を行うための基礎を構築することを目的とし、その実践に取り組んでいる。

そこで、地域の特色を生かして、「住みよい町づくり」をテーマに、「環境」「福祉」に関わる課題を主に取り上げ、低学年では「生活科」で、3～6年では「総合的な学習の時間」において、次のような点に配慮しながら学習を進めている。

〈生活科〉→地域の人やもの、自然とのつながりを大切にする。

〈総合的な学習の時間〉→「環境」「福祉」という視点から、校区のよさや問題点を見つけ主体的に活動する単元を設定し、「住みよい町づくり」につながるよう指導していく。

〈めざす子どもの姿〉

- 現代の社会や自分たちの行動が未来につながっていることを認識する子ども
- 身の回りの人や世界とのつながり、自然環境との関係を尊重する子ども
- 主体的に問題をとらえ、解決していこうとする態度を持つ子ども

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

〈テーマ：「住みよい町づくり」〉



学 年	内 容	教 科	時 期
1 年	「きせつをたのしもう」【環境】	生活科	5～12月(20時間)
2 年	「もっと行きたいな町たんけん」【環境】	生活科	10～12月(19時間)
3 年	「白川校区のじまん隊」【地域連携】	総合的な学習の時間	5～7月(24時間)
	「伝え合う心」【福祉】	総合的な学習の時間	10～12月(15時間)
4 年	「ゴミ減量大作戦ⅠⅡ」【環境・エネルギー】	総合的な学習の時間	5～2月(31時間)
	「敬老会に向けて」【福祉】	総合的な学習の時間	9月(10時間)
5 年	「白川の緑を守ろう！」【環境・エネルギー】	総合的な学習の時間	通年(25時間)
6 年	「お年寄りとの交流会をしよう」【福祉】	総合的な学習の時間	9～11月(15時間)
全学年	「お手紙わたし」【福祉】 弁当の日(3回) 「ペットボトルキャップ色分け」「落ち葉拾い」(ボランティア)	生活・総合 課外	9・1月(2時間) 通年

3 特徴的な活動事例



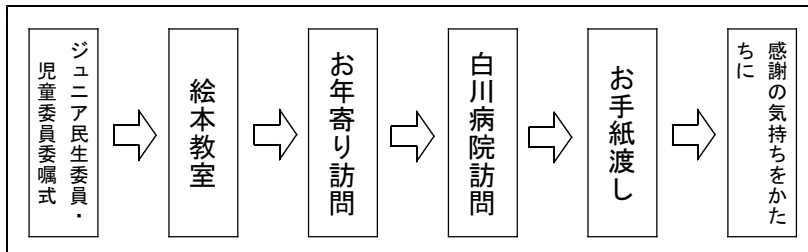
〈6年 総合的な学習の時間 単元「将来の大牟田を考え、自分にできることをしよう」15時間(9～11月)〉

(1) 目標

○大牟田が直面している高齢化の課題について知り、友だちと話し合いながら高齢者との交流会を開いたり、修学旅行で戦争の悲惨さについて学んだりすることを通して、高齢者の方への感謝の思いを強くもつとともに、学んだことや考えたことを発信する。

○活動を通して、高齢化が進む大牟田で自分たちができることを見つけ、実践していこうという意欲を持つことができる。

(2) 実践の展開



< 掲示物の写真 >…【ジュニア民生委員・児童委員活動紹介】

・学校内外での活動記録を1月17日「ユネスコスクールの日」より掲示。

○成果

- ・最初に、民生委員の方から民生委員の役割や仕事内容等を事前に学習したことで、自分たちがすべきことがわかり、計画的に取り組むことができ、主体的に学ぶ子どもが育つ上で有効であった。
- ・見通しが立たずどうすればよいか迷った時に、民生委員の方々の的確なアドバイスや図で自信を持って活動し、解決の方向性を見つけ出すことができた。
- ・自分で課題を見つけ、それを意識しながら学習を仕組んだことで、意欲的に地域の行事にも参加することができ、これからの自分の生活にも目を向けることができた。
- ・人と「つながり」ながら、自分の思いを、「一人で」「グループで」「家族で」「全員で」と様々な形態を取り入れたことにより、「自分にもみんなの役に立てる」と主体的に活動する姿が出てきた。

○課題

- ・今年度から取り組み始めたジュニア民生委員・児童委員の活動なので、まずはできることに挑戦することから始めました。来年度に向けて、活動への導入の仕方や地域の方へのコミュニケーションの取り方など、今年度学習したことを引き継ぎ、さらに工夫を加えたり、学校全体へ広げたり、無理なく続けていけるような取組が必要である。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・「住みよい町づくり」をテーマにE S Dを実践することができた。学年の掲示物や学期末の発表により、どの学年も見通しを持って活動することができ、「人とのつながり」の大切さを見つけていた。地域の方も子ども達の学習に積極的に協力して下さった。
- ・お世話になっている方へ感謝の気持ちを伝えたり、人を幸せにすることやよりよく生きることの大切さを感じたりすることができた。

○課題

- ・無理のない程度で地域との連携を深め、事前の打ち合わせや事後の話合いを密にし、地域の一員として活動を続けていく。
- ・学年間の縦のつながりの見直しと中学校とのつながりを意識する必要がある。